



# 学びの直送便



今回の「学びの直送便」では、10～12月に実施された5講座を紹介します。

## 418 算数科・数学科授業づくりシリーズ講座

第1回(6月実施) 第2回(8月実施) 第3回(12月実施)

- グループ編成
- 研究テーマの設定
- 研究の進め方の確認

- 中間報告、協議

- 研究発表会

メールやSNSなどを活用して、共同研究を進めました。

- 《研究テーマ》
- 〇つながる・つなげる 生活と算数と数学
  - 〇小中接続9年間の数学的つながり
  - 〇1人1台端末時代の指導について

受講者がこの講座を通して向上させたスキルを、自身の実践に活かすだけでなく、勤務校や地域・府全体へ研究成果を波及させていくことが期待されます。

516

## 教育相談〈中級〉講座Ⅱ

—ひきこもる心を考える—【領域②】

講師：ながうちこころのクリニック 長内 清行 理事長・院長

人が社会や人間関係から離れていくときの心の状態と、ひきこもりや不登校への適切な支援・対応、関係機関との連携について御講義いただきました。

講義を通して、教職員は児童生徒の人生における重要な一人になるということをお話いただきました。

### 【受講者の感想】

- ・不登校日数に変化が感じられなかったとしても、その子との関わりや家族を支えていくことが、数年後のその子の生き方や人生を支えているのではないかと思います。日々の関わりや支援を大切にしたいと思った。
- ・つつい口をはさみたくなくなってしまい何か話さなければと思うこともあるが、子どもの声や考えに寄り添い、一緒に考えられる存在でありたい。

## 712 最新教育動向講座Ⅱ

講師：東京大学・慶應義塾大学 鈴木 寛 教授

A I時代の教育～今、求められる小・中・高校・大学の教育改革～と題して、御講義いただきました。官僚、国会議員、大学教員等の御経験から、「未来を託せる人材を育てることができる、皆さんの仕事が一番素晴らしいと感じる。」「京都府の先生方は教育改革をリードされていて、その取組に敬意を表したい。」とお話いただきました。今、大転換の時代を迎えている中で、データに基づく教育改革の必然性、日本の教育の強みと弱み等々、根拠を踏まえ分かりやすく説明していただきました。

### 【受講者の感想】

- ・A I時代の教育とは何か、学習者の自立性を養い、安心して学べる環境をつくり出すことが我々の役割であることを学んだ。

鈴木 寛 教授

## 808 学校事務職員講座

講師：愛知教育大学 風岡 治 准教授

学校教育法の一部改正により、「事務に従事する」から「事務をつかさどる」へと事務職員の役割が変化し、事務処理だけではなく「立案・調整・判断」へと仕事の質を高め学校運営に参画することなど、今後求められる資質・能力についてお話いただきました。

また、パネルディスカッションでは「共同学校事務室」、「学校運営と事務職員」というテーマで5名のパネラーから様々な報告や事例を紹介いただきました。

中でも南丹市の共同学校事務室の取組報告は、市教育委員会職員とのより良い連携により、学校運営スタッフのみならず市の施策提案者や教育改革者としての期待も示され、多くの受講者の共感を呼び、今後の展望や可能性を広げるものとなりました。

風岡 治 准教授

## 510 京の教育「みやび」講座

講師：能楽協会京都支部 河村晴久氏 宮本茂樹氏 河村和貴氏

京都の歴史、伝統・文化について体験的に学び、実践につなげるための基盤を養うことをねらいとして、重要無形文化財「能楽」総合認定保持者である河村晴久氏に御講義いただきました。

豊富な内容の講義で、「羽衣」の実演や能楽に関する解説、謡いの演習など様々な角度から能楽の魅力について紹介いただきました。初めて能を鑑賞する受講者も多く、「羽衣」の舞における動作の一つ一つに込められた意味を学び、改めて実演を鑑賞することで、同じ舞でも全く違った見え方がするなど、能楽の奥深さや精神性を体験的に学ぶ貴重な時間となりました。

また、「我々はゲストティーチャーとして『能楽』を教えることはできるが、『教育』のためには活動を通して子どもたちにどのような力を育むのか、という先生方の専門性に根差した目標設定が不可欠」と、伝統や文化に関する教育を構想する上で重要な視点についてもお話いただきました。



河村晴久氏による舞の実演

## 質の高い学力を育成する「学習指導案ハンドブック」 —小学校(小学部)編—

「学習指導案ハンドブック」(平成24年3月発行)を改訂し、ITECに掲載しました。

### 作成のねらい

本書は、各学校において学習指導案を作成する際の手引きとしての役割を果たすことや、校内研修や研究の資料として活用されることをねらいとして作成しました。各学校等において、研究授業の一環として学習指導案を検討される際等に、活用されることを願っています。



ITECからのWeb  
コンテンツ視聴はこちら!

[http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/index.php?key=jo6anyozz-177#\\_177](http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/index.php?key=jo6anyozz-177#_177)



京都府総合教育センターでは、1人1台端末環境下での授業を想定し、当センターのホームページI T E Cに「ポストコロナ社会を見据えたセンター研修講座」と題した動画を掲載しています。



Web研修動画掲載ページにはログインが必要です。

**IDとパスワード**については、各校に配布済みですので、確認してください。

## 1月中に掲載予定

### 「iPad」・「電子黒板」を活用した「新時代の学び」実践講座 (初級)

1人1台端末環境での授業活用例を教科別に紹介しています。例示している教科は校種によって異なりますが、**端末の活用方法は校種・教科に限らず活用できます**。ぜひ参考にしてください。

#### 『校種と教科』

- ・小学校低学年：国語科 生活科
- ・小学校中学年：理科 特別活動
- ・小学校高学年：外国語科
- ・中学校：社会科（公民的分野）
- ・中学校：外国語科
- ・中学校・高等学校：数学科
- ・中学校・高等学校：理科
- ・中学校：技術・家庭（家庭分野）・高等学校：家庭科
- ・電子黒板を利用した授業について（全教科共通）
- ・高等学校：国語科

1単位時間の授業を想定して作成しています。



### 読み書きに困難のある児童生徒へのICT機器活用の普及講座 (初級～中級)

読み書きに困難のある児童生徒への支援として**ICT機器等を活用した「読み」の支援**についての講座です。音声読み上げ機能や音声教材について紹介しています。

#### 『音声読み上げ機能』

- ・iPad
- ・Word

「読み」の支援ツールについて知りたい方におすすめです。



#### 『音声教材』

- ・ペンでタッチすると読める音声付教科書
- ・e-Pat（文字・画像付き音声教材）
- ・マルチメディアアデージ教科書
- ・AccessReading
- ・音声教材BEAM
- ・UNLOCK



## 掲載中

1本約15分で視聴できるWeb研修動画です。ぜひ活用してください。



### 「Teams」を活用した授業に向けて(初級～中級)

Teamsの「基本的な操作方法や各種機能」を踏まえながら、「Teams」を活用した授業について紹介しています。授業配信の方法や課題・提出物の管理方法等を説明しています。

### 「iPad」活用基礎講座(初級)

iPadの「基本的な操作方法や各種機能」や、iPadで使用できる無料アプリによる「素材の集め方」、「スライドや動画の作成方法」等について紹介しています。



# Let's プログラミング!



## プログラミングを楽しく体験

令和2年度「小学校プログラミング教室」



令和2年12月5日(土)に総合教育センター北部研修所において、令和2年度「小学校プログラミング教室」を実施しました。府内小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍する5年生児童を対象にした本教室では多くの応募をいただき、プログラミング教育への関心の高さを感じました。参加した児童は、株式会社NTTドコモが開発したプログラミング教育用ロボット「embot」を組み立てて飾り付けをし、**ロボットが自分の考えた動きができるプログラム**を作りました。ロボットの動く様子を観察し、プログラムを修正することを繰り返し、納得できる動きにしていました。



思ったより簡単だったし、スタッフの方々も、とても優しく教えてくれて楽しかったです。

#### 児童の感想

プログラミングでロボットに指示するのが楽しかったです。また、プログラミングをしたいと思います。

#### 保護者の感想

タブレット授業やプログラミングなど子どもにとって身近なものにしていけないといけない時代になってきたので、親子で参加でき、内容も楽しく親しめるもので本当に良かったです。

皆様がとても丁寧に教えてくださったので、わかりやすく子どもが夢中になって楽しんでいました。「embot」欲しいです。

